

| |
|--|
| 学校基本方針 |
| 医療人としての豊かな人間性と社会性を涵養し、専門職としての高度な知識や技術を習得した歯科衛生士を養成する。 |
| 学校教育目標 |
| ① 専門的な医学知識を身に付け、高度化する医療技術や高齢化社会に対応できる能力を養う ② 学問的裏付けによる問題解決能力とそれを応用できる創造性を養う ③ コミュニケーションスキルやホスピタリティマナーを身に付け、豊かな人間性と社会性を育む ④ 専門職としての自覚を持ち生涯学ぶ努力をする歯科衛生士 |
| 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画 |
| ① カリキュラムの充実を図り有能な人材を養成する ② 国家試験100%合格、就職率100%による地域医療への貢献 ③ 歯科衛生士を目指す自覚を持ち時間厳守、学則厳守し自己管理に努める ④ 充実した学生生活のために心理的ケアも含めた健康管理を支援する ⑤ 人材確保のために適切な情報の提供に努める。 |

評価項目の達成及び取組状況

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

(1) 教育理念・目標

| 評価項目 | 評価 |
|---|-----|
| 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか | 4.0 |
| 学校における職業教育の特色は何か明確に示されているか。 | 3.9 |
| 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 3.7 |
| 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか | 3.0 |
| 各学科の教育目標、人材育成像は、学科などに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 3.7 |

【課題】

- ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などをより学生・保護者等に周知すること。
- ・保護者への学校の教育理念周知が足りない。
- ・理念などが保護者へ伝わっているのか確認できない。

【今後の改善策】

- ・集まった際の講話や配布物を通して学校の理念等を学生保護者に周知していく必要がある。
- ・保護者の方へ周知活動を行う。
- ・学生に問題が起きた際は、直接保護者と話す機会があるが、通常はそうでないため、学生面談の時に保護者との会話や理解が得られているのかを確認する。

(2) 学校運営

| 評価項目 | 評価 |
|--|-----|
| 目的などに沿った運営方針が策定されているか | 3.7 |
| 運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 3.6 |
| 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 3.4 |
| 人事、給与に関する規定等は整備されているか | 3.3 |
| 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 3.2 |
| 業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか | 3.2 |
| 教育活動に関する情報公開が適切になされているか | 3.4 |
| 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 3.1 |

【課題】

- ・運営方針の機関決定において風通しの悪い部分がある。
- ・情報のシステム化など IT環境の整備

【今後の改善策】

- ・人員編成や組織においての役割の明確化が必要である。
- ・IT環境の整備が不十分 そこを整える

(3) 教育活動

| 評価項目 | 評価 |
|--|-----|
| ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 3.7 |
| ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 3.8 |
| ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 3.9 |
| ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 3.6 |
| ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 3.3 |
| ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか | 3.4 |
| ・授業評価の実施・評価体制はあるか | 4.0 |
| ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 3.2 |
| ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 3.9 |
| ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 3.9 |
| ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 3.6 |
| ・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか | 3.2 |
| ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 2.9 |
| ・職員の能力開発のための研修等が行われているか | 3.0 |

【課題】

- ・教員確保のための日常的な活動を行っていない。
- ・教員が業務に追われ、指導力や知識技能向上の研修を受ける時間が確保できていない。
- ・職員の環境改善。
- ・教員が研修を受ける時間・体力的余裕を確保する。

【今後の改善策】

- ・歯科衛生士不足の中で、本校卒業生へのアプローチが大変厳しい状況にある。
- ・業務の効率化や増員を行い、研修受講の時間を確保することが必要である。
- ・専任教員の人員不足を解消する
- ・各専任の仕事量や負担を均等にし、自分の能力・知識向上のための研修会・学会参加の余裕を作る。
- ・学生教育に時間をとれるような仕事の役割分担を行う。

(4) 学修成果

| 評価項目 | 評価 |
|---|-----|
| ・就職率の向上が図られているか | 4.0 |
| ・資格取得率の向上が図られているか | 4.0 |
| ・退学率の低減が図られているか | 3.3 |
| ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 2.8 |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。 | 3.0 |

【課題】

- ・退学者が連続して出ている。
- ・退学率の低減と卒業後キャリアの把握
- ・卒業後の進路の追跡ができていない

【今後の改善策】

- ・学生の学習指導、生活指導の在り方を再検討してみる。
- ・在校生、卒業生共に現在以上にフォローをする体制を作る必要がある
- ・卒業後のDHとつながる環境づくりをすることで新しい問題点の改善が見込める。
- ・卒業生の活躍などを把握し、学校教育活動の改善ができるように努める。
- ・学生が退学を思い悩まないような学校づくりをする。

(5) 学生支援

| 評価項目 | 評価 |
|--|-----|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4.0 |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか | 3.9 |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 3.7 |
| ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 3.7 |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか | 2.9 |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか | 3.3 |
| ・保護者と適切に連携しているか | 3.2 |
| ・卒業生への支援体制はあるか | 3.1 |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 3.6 |
| ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 3.4 |

【課題】

- ・学生の課外活動に対する支援を行っていない。
- ・経済的な支援体制の拡充
- ・卒後の進路の追跡ができていない。
- ・学生の生活環境の把握をする。
- ・カウンセリング日程も設定しているが、利用者がほとんどいない。
- ・卒業生への支援体制。

【今後の改善策】

- ・課外活動まではなかなか対応する余裕が取れない。
- ・各種支援金や経済的支援制度の確立が必要
- ・卒後のDHとつながる環境づくりをすることで新しい問題点の改善が見込める
- ・相談しやすい環境を作る。

(6) 教育環境

| 評価項目 | 評価 |
|---|-----|
| ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 3.3 |
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 3.3 |
| ・防災に対する体制は整備されているか | 3.3 |

【課題】

- ・漏水工事以後の校舎の状態について
- ・校舎の老朽化
- ・学内実習に使用する器具・器材の数が少ないものがあり、実習はできているが、実習計画に悩むことがある。

【今後の改善策】

- ・漏水工事完了後の校舎の状態を見守り、不備があれば修繕計画を立てる
- ・老朽化 漏水による事故がないように修理していく
- ・数を確保する。

(7) 学生の受け入れ募集

| 評価項目 | 評価 |
|------------------------------|-----|
| ・学生募集活動は、適正に行われているか | 3.8 |
| ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 3.6 |
| ・学納金は妥当なものとなっているか | 3.8 |

【課題】

- ・募集活動の拡充、定員割れ
- ・受け入れ人数の減少
- ・広報担当がいない。
- ・SNSの活用。

【今後の改善策】

- ・学生募集活動をより充実させ、定員に近づけるようにしていく。
- ・受け入れ人数の減少を食い止めるための学生募集活動が必要
- ・専任が広報を担っているため、空き時間を確保して広報活動（ガイダンス・学校訪問）に役立てる。
- ・紙媒体（ガイドブックなど）では、高校生へのアプローチが弱いのでSNSを活用した活動に力をいれる。
- ・担当が必要。

(8) 財務

| 評価項目 | 評価 |
|---------------------------|-----|
| ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 2.7 |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 3.1 |
| ・財務について会計監査が適正に行われているか | 3.9 |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか | 3.8 |

【課題】

- ・入学者数の減少による単年度収支の悪化が続いている。
- ・財務状況の改善
- ・財務基盤の脆弱化
- ・学生数を確保し収入を得る。

【今後の改善策】

- ・学校運営が成り立つ入学制の確保のため、短期長期の視点で再考していきたい。
- ・収支の改善を行っていく。
- ・基本的な運営方法の改善にて財務状況を改善する。
- ・広報担当者を配置し、入学者を増やす事を考える。
- ・学生募集や広報の力をつける。（人員、時間、know-how、研修など）

(9) 法令等の遵守

| 評価項目 | 評価 |
|--------------------------------|-----|
| ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4.0 |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4.0 |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 3.8 |
| ・自己評価結果を公開しているか | 4.0 |

【課題】

- ・問題点の改善の進捗が遅い
- ・自己評価の問題点

【今後の改善策】

- ・より迅速に改善できるよう努める
- ・自己評価の問題点を周知することで 状況が変わるようにする

(10) 社会貢献・地域貢献

| 評価項目 | 評価 |
|--|-----|
| ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 2.8 |
| ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 3.0 |
| ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか | 2.7 |

【課題】

- ・災害時のボランティア活動の支援等を行っていない。
- ・地域との連携が取れていない
- ・職業訓練の経験場所不足

【今後の改善策】

- ・学校児童生徒の口腔衛生向上に役立つような活動は行っている。災害ボランティア等は今後の課題としておきたい。
- ・教育資源を活用して情報発信することで地域と連携を取っていく
- ・県内の学校医の協力のもとに 職業訓練経験の場所の確保する